

# 令和4年度 進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校

第2号

令和4年7月23日発行



今号では、中学部で職業学習週間と高等部の校内実習、前期現場実習についてお伝えします。

## 中学部職業学習週間の様子



中学部1組では、6月15日(水)～17日(金)までの3日間、職業学習週間を行いました。将来の自分の生活を考えることをねらいに事業所について調べたり、見学をしたりして、分かったことや感じたことをまとめる活動に取り組みました。高等部卒業後の生活について、考えるよい機会となりました。11月にも同様の流れで職業学習週間を実施する予定です。

### Kグループ



↑事業所の作業を事前練習



↑しっかりと質問できました



↑練習の成果を発揮しました

### Wグループ



↑事業所のことを事前に確認



↑職員の方からの説明をととても集中して聞いています



### 報告会



模造紙やiPadで調べたことなどをまとめたり、感想を発表したりして、事業所での様子をお互いに確認しました。

# 実習を通して社会生活・職業生活に触れる ～高等部校内実習、前期現場実習～

高等部では、5月末から7月中旬にかけて、校内実習と希望者による前期現場実習が行われました。実習のねらい、配慮点などについて紹介します。

## 実習とは？

実習は、社会生活・職業生活に必要な力（生活する力、働く力など）を身に付けるための、より実践的な学習の場です。学校内で模擬的に体験する校内実習、福祉事業所や一般企業で実際に生活・作業（仕事）の体験をする現場実習があります。

学年	実習の位置づけ
1年	見学や体験的な実習
2年	卒業後の利用を視野に、希望する進路先を絞るための実習
3年	希望の確定と利用を前提にした実習

### 校内実習

#### 校内実習のねらい

- 卒業後の生活につながる作業的活動、余暇活動を体験する。
- 5日間継続して作業に取り組む。
- 得意なこと、苦手なこと、好きなこと、自分の身体の状態などについての自己理解を深める。



エコグリーン班  
育苗作業



縫製班  
巾着袋・かおり袋作り

### 現場実習の進め方

#### ①実習・見学先の選択

##### 実習先を決めるときに配慮すること

- 様々な進路先について担任と情報交換する。
- 自分の適性（作業が好き、レクが好きなど）を踏まえる。
- 進路希望先として候補になりそうな場所にする。
- 希望するサービス（入浴・送迎など）がある場所にする。

#### 現場実習の様子



午前  
箱折り作業



午後  
レクリエーション

②実習 前期現場実習では、希望に応じて1日から5日間の現場実習を、福祉事業所で行いました。

#### 現場実習のねらい

- 自己理解（得意なこと、苦手なことなどの理解）を深める。
- 卒業後の生活を体験したり、イメージしたりする。
- 卒業後の生活への移行に向け、人や場所などの環境、作業やレクリエーションなどの活動に慣れる。



レクリエーション



タオルたたみ作業

#### ③振り返り（評価）

現場実習終了後、福祉事業所見学後は、本人、保護者、担任（必要に応じて進路指導主事）で実習の振り返り（評価）をします。

一日の過ごし方や仕事内容、施設、会社の環境など、本人の特性にあった場所であるか、進路先として選択肢になり得るかを検討し、今後の進路選択・決定に生かしていきます。

#### 振り返りで確認すること（例）

- 本人の適性はどうか。
- 仕事や作業に意欲的に取り組んでいたか。
- 通勤・通所方法はどうか？
- 必要とするサービスがあるか。 など